

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年02月01日

計画の名称	南砺市における安心・安全な暮らしを支えるみちづくり		
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)	重点配分対象の該当	
交付対象	南砺市		
計画の目標	消防署再編に伴う重点緊急搬送道路を整備し、救急医療施設（第3次医療施設）への搬送時間を短縮して安心なまちづくりを行う。 地域包括医療ケアセンター等の福祉施設周辺の道路整備を行い、交通弱者の安全を確保する。 冬期間の安全な交通を確保するため、克雪まちづくりを行う。 歩行者・自転車等が安心して通行できる道路整備を行う。 「城端駅交通・情報拠点化基本構想」に基づきターミナル拠点としての機能強化を目指すとともに、消融雪施設の整備により冬期間の円滑な通行と安全の確保を行う。		
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,939 A	0 B
		0 C	0 D
		0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)
		0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)	(H31末)	(H33末)
1	・人身事故件数を132件（H29）→130件（H33）へ減少させる。 人身事故件数全体に占める歩行者・自転車利用者の件数により算出する。 (歩行者・自転車利用者の人身事故件数の減少) = (現況の人身事故件数) - (事業後の人身事故件数)	132件	131件	130件

備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む - 連携中枢都市圏を含む - 流域水循環計画を含む - 地域再生計画を含む -

基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計 策定状況	
		H29	H30	H31	R02	R03														
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
幹線事業	A01-001	道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村道	改築	(1) 下出入谷線 入谷	拡幅整備 0.70km	南砺市	■	■	■	■	■	636		—	
	A01-002	道路	雪害	南砺市	直接	南砺市	市町村道	除雪	(1) 高掘大美山線他	道路除雪 333.1km	南砺市	■	■	■	■		146		—	
	A01-003	道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村道	改築	(他) 大藪坪野1号線 北川	拡幅整備 0.15km	南砺市	■					63		—	
	A01-004	道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村道	新設	(他) 二日町線他 福野	道路新設 0.49km	南砺市	■	■	■	■	■	212		—	
	A01-005	道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村道	改築	(2) 小坂岩木線(和泉 ・岩木工区) 和泉・岩 木	歩道整備 1.05km	南砺市	■	■	■	■	■	350		—	
	A01-006	道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村道	新設	(他) 城端駅前広場線 是安	駅前広場 3,500㎡	南砺市	■	■				16		—	

基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設設計 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村道	新設	(他) 荒木29号線 荒木	道路新設 0.08km	南砺市			■	■			167	-
	A01-008	道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村道	改築	(1) 野田上原線 金戸	歩道整備 L=0.39km	南砺市			■	■	■		100	-
	A01-009	道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村道	改築	(2) 国広南原線 立野原東(京塚)	歩道整備 0.60km	南砺市				■	■		250	-
												小計						1,939	
											合計							1,939	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31		
配分類 (a)	61	68	71		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	61	68	71		
前年度からの繰越額 (d)	5	9	16		
支払済額 (e)	57	61	45		
翌年度繰越額 (f)	9	16	42		
うち未契約繰越額 (g)	9	15	14		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	13.63	19.48	16.09		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					